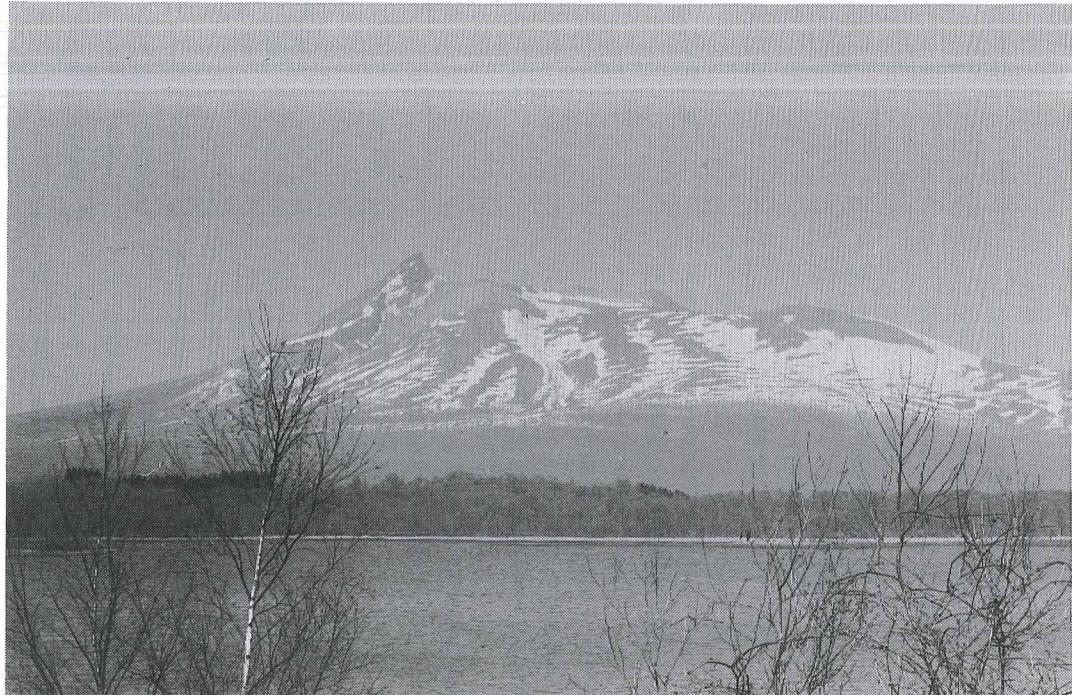


い　な　づ　ま

題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 畠山印刷



(残雪の駒ヶ岳)

道工業組合 通常総代会開催さる

副理事長 吉田 要

北海道電気工業組合の昭和六〇年度通常総代会が去る二月二六日午後二時より札幌市北海道厚生年金会館に於いて開催された。

当組合からは大倉理事長ほか九名の総代が出席し、道内各単協からは八九名の総代が参集した。

島津理事長の挨拶要旨は、「うち続く不況の中、さしたる好材料もみえないまゝ新年度に突入した、ニューメディヤに象徴される新しい情報化時代に対応するため、我々の英智を結集して自助努力をしなければならない。組合員の一層の奮起をうながしたい」と結び、議事に入った。

総代定数一一名の内本人出席八九名委任状八名で総代会成立の宣言のあと議長選出に入り、尾池寿生氏（札幌協組）が推せんされて議長席に座り第一号議案の「昭和五九年度事業報告・決算報告」に入り、続いて第二号議案の「昭和六〇年度事業計画・收支予算案の承認の件」、第三号議案として「昭和六〇年度賦課金並びにその徵集方法について」と続き、第四号議案の「定款の一部変更について」では従来定数が二名であった副理事長を三名に変更する要旨で、第一号より第四号までの議案は大多数の拍手をもって承認可決された。

続く第五号議案「役員（理事及び監事）全員任期満了による改選」に移り、全員の承認により選考委員による選出と決まり、各単協一名の選考委員が別室にて審議の結果、理事監事とも全員再選された。但し一部の単協で、理事長改選時期の時間的なズレがあるので、工業組合の役員任期中に役員交替があった場合、自動

い な づ ま

的に工業組合の役員になれる旨の了解事項も承認された。以上約二時間半に亘った総代会は熱心な討議の内に無事終了し、休息のあと午後五時三十分より懇親会が催された。

懇親会は、札幌通産局、北海道、札幌市の官庁関係者を始め、北電、保安協会、電業協会、在札メーカー関係等を来賓として招待し賑々しく行われた。余興として各単協代表のカラオケ出演があつたりして盛会裡に午後七時二〇分終宴となつた。

役員会だより

第八回役員会

一、慶弔報告

(一) 上ノ国電気工業所代表者ご逝去

二、貸付報告

五社 一二三〇万円

三、各支部報告並提案事項

特記事項なし

四、総務委員会事項

組合の新年会について

日時・会場・会費等について審議決定した。

(二) 永年勤続者表彰式の報告

道工業組合役員会等旅費の補助について

事務局職員冬期手当の支給について

冬季の省エネルギー対策について

冬季の省エネルギー対策について

支部運営費の支出報告

組合員の脱退申入れについて

事務局の御用仕舞、御用始について

技術・教育委員会事項

電気工事士試験の受験願書について

高圧計器施工業者基準案について

事業委員会事項について

(一) 全日電工連住友グループ共済制度の還元について

(二) 全日電工連第三者損害賠償制度実績について

元について
 (三) 全日電工連住友グループ共済制度の還元について
 %にあげたい。
 (四) 共同保守管理業務の契約を督励する
 (五) 共同保守管理業務の契約を督励する
 第九回役員会
 一、慶弔報告
 (一) 信平電気工業所代表者怪我入院見舞
 (二) 小林電機商会代表者母堂ご逝去
 二、貸付報告
 六社 一二三〇万円
 三、各支部報告並提案事項
 西支部 二〇〇万円
 四、総務委員会事項
 会を開催したい。
 東支部=支部会議および新年会を開催
 江差支部=函館において支部会議兼新年会を開催
 福島支部=八雲ブロックの合同新年会を開催
 (森ブロック)=安全祈願祭を行ない、その後新年会を開催
 赤川支部=支部会議兼新年会を開催
 (二) 新年会の開催要領について
 下請代金支払の適正化について
 (三) 新規加入申込者(六名)の審査について
 (四) 相続による加入申込について
 上ノ国電気工業所
 故川島勝三郎一川島トミエ(承認)
 (五) 讓受・譲渡による加入申込について
 (六) 高野電気工業所一(高野電気工業所)
 (七) 北海道電気工業事業工組合總代会について
 期日=昭和60年2月26日
 場所=北海道厚生年金会館

五、技術・教育委員会事項

(一) 引込線工事のエラーについて
 (二) 昭和60年度主任電気工事士研修会の開催について

期日=昭和60年4月16日

時間=午後1時~午後5時
 場所=ホテルアカシヤ

六、事業委員会事項

(一) 第三者損害賠償制度等実績資料について
 (二) 共同保守管理業務の契約推進について
 全道で100件以上の契約目標を樹て、一単協
 100件をノルマとする。

組合行事

12月5日 理事長・副理事長会議

10日 団体中央会主催「テクノポリス函館を考える」研修会に佐藤職員出席

12日 小規模企業振興委員連絡会議に坂本事務局長出席(於函館商工会議所)

13日 第八回役員会

14日 東支部会議

15日 西支部会議兼忘年会

16日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札電協)

18日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札電協)

21日 中渡島支部会議

26日 北支部会議

29日 御用仕舞

1月7日 御用始

15日 八雲支部八雲ブロック合同新年会

16日 八雲支部森ブロック合同新年会

18日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札電協)

| | | |
|-----|---------------------------------------|------------|
| 19日 | 全日 | 赤川支部会議兼新年会 |
| 20日 | 東支部会議兼新年会 | 席 |
| 21日 | 江差支部会議兼新年会 | 席 |
| 22日 | 商工中金懇話会総会に坂本事務局長出席 | |
| 23日 | 第九回役員会、新年会（於五島軒本店） | |
| 24日 | 団体中央会主催「労働問題懇談会」に坂本事務局長出席（於拓銀ビル） | |
| 25日 | 全日電工連互助会に大倉理事長出席 | |
| 26日 | （於東京都） | |
| 27日 | 八雲支部八雲アロック総会兼新年会 | |
| 28日 | 八雲支部森プロック交通安全講習会 | |
| 29日 | 北海道電気工業厚生年金基金役員会および代議員会に大倉理事長出席（於札電協） | |
| 30日 | 八雲支部北檜山アロック合同新年会 | |
| 31日 | 中渡島支部会議 | |
| 1日 | 北支部会議兼新年会 | |
| 2日 | 八雲支部森プロック交通安全講習会 | |
| 3日 | 全道事務長会議に坂本事務局長出席（於札電協） | |
| 4日 | 北海道電気工業厚生年金基金役員会および代議員会に大倉理事長出席（於札電協） | |
| 5日 | 八雲支部北檜山アロック合同新年会 | |
| 6日 | 中渡島支部会議 | |
| 7日 | 北支部会議兼新年会 | |
| 8日 | 八雲支部森プロック交通安全講習会 | |
| 9日 | 全道事務長会議に坂本事務局長出席（於札電協） | |
| 10日 | 北海道電気工業厚生年金基金役員会および代議員会に大倉理事長出席（於札電協） | |
| 11日 | 八雲支部北檜山アロック合同新年会 | |
| 12日 | 中渡島支部会議 | |
| 13日 | 北支部会議兼新年会 | |
| 14日 | 八雲支部森プロック交通安全講習会 | |
| 15日 | 全道事務長会議に坂本事務局長出席（於札電協） | |
| 16日 | 北海道電気工業厚生年金基金役員会および代議員会に大倉理事長出席（於札電協） | |
| 17日 | 八雲支部北檜山アロック合同新年会 | |
| 18日 | 中渡島支部会議 | |
| 19日 | 北支部会議兼新年会 | |
| 20日 | 八雲支部森プロック交通安全講習会 | |
| 21日 | 全道事務長会議に坂本事務局長出席（於札電協） | |
| 22日 | 北海道電気工業厚生年金基金役員会および代議員会に大倉理事長出席（於札電協） | |
| 23日 | 八雲支部森プロック交通安全講習会 | |
| 24日 | 全道事務長会議に坂本事務局長出席（於札電協） | |
| 25日 | 北海道電気工業厚生年金基金役員会および代議員会に大倉理事長出席（於札電協） | |
| 26日 | 八雲支部森プロック交通安全講習会 | |
| 27日 | 全道事務長会議に坂本事務局長出席（於札電協） | |
| 28日 | 北海道電気工業厚生年金基金役員会および代議員会に大倉理事長出席（於札電協） | |
| 29日 | 八雲支部森プロック交通安全講習会 | |
| 30日 | 全道事務長会議に坂本事務局長出席（於札電協） | |
| 31日 | 北海道電気工業厚生年金基金役員会および代議員会に大倉理事長出席（於札電協） | |

技術研修会開催

主催＝北海道電気工業事業組合

協賛＝北海道電力株式会社

松下电工株式会社北海道地区担当部

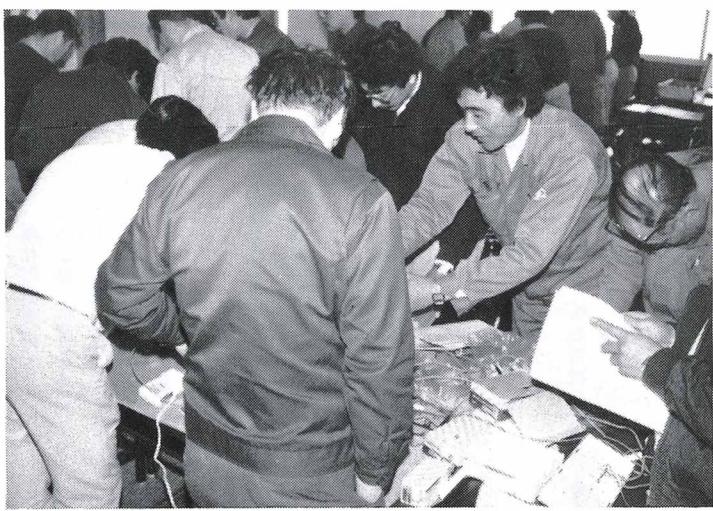
本年は、本格的にはニューメディア時代に対応する為に、ニューメディアを正しく理解すると共に、その中核となるホームオートメーションのうち、特にホームセキュリティの実務知識と技能を修得すると言うテーマで、二月一二日の十勝協組を振り出しに各単協所在地で開催され、最終の研修会として二月二三日当組合会議室において開催されました。

午前九時、開会に次いで大倉理事長が挨拶をしたあと、松下电工㈱本社営業研修センターの宮井課長を講師に迎え、

一、ニューメディアとHA
 一、ホームセキュリティ設備設計基礎
 一、ホームセキュリティの結線実習

このたびの研修会では、結線実習が行なわれることもあって、受講人員を五〇名と限定して募集したところ、当初六〇余名からの申込みがあつて一部お断りしました。

3月2日
 中渡島支部研修旅行会（あいのり温泉）
 3日
 第一〇回役員会
 4日
 保守管理業務技術員認定講習会
 5日
 東支部会議
 6日
 渡島支厅による電気工事業法立入検査
 7日
 赤川支部会議



恒例

新 年 宴 会』

振 や か に 開 催



去る一月二十五日、恒例の新年宴会が末広町の五島軒本店芙蓉の間において振やかに開催されました。

午後二時から第九回の役員会が別室で行なわれたあと、続発する交通事故を何とか防止したいとの願いをこめて、北海道函館方面函館中央警察署の小松交通課長を招請して約一時間半に亘って講習会を開催、更め交通事故の悲惨さを認識いたしました。

当日は折悪しく降雪が多く出席予定数を若干下廻りましたが、午後五時三十分、函館市岡川収入役はじめ官公庁関係来賓六名、北電・電材店ほか来賓二十四名のほか組合員、事務局職員等を含め総数百五十名余が一堂に会しました。

大倉理事長の新年のあいさつに統いて来賓各位ならびに新加入組合員七名を紹介、退職役員に対する記念品の贈呈等が行われ、片山北電函館営業所長の音頭で祝盃をあげ祝宴に入りました。

祝宴でのアトラクションは青年部の会員が担当し、エアロビックジャズダンスや、テーブル対抗の風船割りなどで盛りあげ最後はカラオケと司会を担当した有本庄電気工業所の本庄社長も汗をかいての大活躍、かくして午後八時、北海道電気資材卸業組合の笠松函館支部長の音頭により、関係者一同の益々の繁栄と健康を祈念しての万才三唱で無事終宴となりました。

組合員の異動

||商号・代表者・住居表示の変更||

(新)

(旧)

一、吉田電気商会
上磯郡上磯町
飯生一丁目一一一八
字飯生町一九

一、成田電気工業所
上磯郡上磯町
飯生二丁目一一一〇
字新浜町五三

一、山口電気工業所
函館市東山町
三丁目五七一一九
二八一一〇二

一、(有)高野電気工業所
上ノ国電気工業所
代表者 川島トミエ
一、岩本電気㈱
代表者 川島勝三郎
代表取締役岩本とも子
代表取締役岩本明博

お詫び



前号（第六三号）において、大興電機株式会社殿の広告記事を誤って掲載いたしました。

ここに謹んでお詫び申しあげます。

組合員消息

一、一月二二日 尾野電気工事代表者尾野正三殿怪我入院

殿

一、二月三一日 小林電機商会代表者小林金蔵
殿 母堂小林スハ殿逝去

一、二月七日 岩本電気㈱代表取締役岩本明
博殿逝去

一、二月九日 北邦電気㈱代表取締役関本宏
殿 母堂関本カツ殿逝去

一、二月二十五日 山口電気工業所代表者山口進
殿 尊父山口金彌殿逝去

一、三月四日 横井電気商会代表者横井静子
殿 尊父佐野長三郎殿逝去

一、三月一〇日 共栄電気工業㈱専務取締役
長谷川照雄殿逝去

サハリン日記

又祖の地を踏む その三

平沼智子

七月二十九日 日曜日 晴

ピオニールオリエンピアキャンプ

広い地域である。ピオニールとは共産党小年団のことである。子供達が赤いペナントのついたラッパを吹いて、吾々を迎えてくれる。北海道の全道労協の肝入りで、札幌周辺の小・中学校から男女併せて二十四名と引率者四名計二十八名が参加していた。

四週の日程で各地から子供達が集まる。今日は第二回目の開会式である。門から通路に添つて働く子供の姿を画いた看板が並んでいる。魚を抱いた子、麦の穂を背景とした子供等である。

男女の子供の顔を画いた看板がズラリと並んでいる一寸した広場がある。この看板に画かれている子供達は英雄の称号をもらった人達で、戦死した者はばかりである。小年兵として戦死した子、大人となって戦死した人の子供の時の顔で、ソ連ばかりでなく、ベトナム、イラク、ギリシャ等もある。要是ソ連と友好の関係の国のお英雄達で、国家の為に戦った人達を何時までも崇める為である。

あちこちに花畠があり金盞花の真盛りで美しい。子供達の代表がこの看板に花を捧げる。私達にも花をくられたので同じように捧げた。私は英雄に対してではなく、幼くして死んだ子供達への供養として、心の中で掌を合わせた。

キャンプ場は広大で地域の中に公式の広場のほか、バスケット・プール・テニス・バー等の施設があり映画館もある。夜間照明も完備しており宿舎は一棟六

十人の収容である。先生が三人で隊長一人がつく。隊長は師範大学出身者である。ここに入るには父母の職場の労働組合の証明が必要であり、費用は父母の給料に応する。ちなみにソ連は共働きが原則のようで男五十五才女五十才が停年である。一期六〇〇人を収容し、いつでも太陽が子供達の上に輝くように努力しているとの事である。

食堂も清潔であった。一回に三百人が食事をする事が出来る。

この施設は会社組織であり社長がいる。しかし、日本との会社と違い営利を目的とするわけではない。うまく経営が出来るよう、收支のバランスを保つための会社である。ホテルの支店長も全く同じ目的で独立採算で、本店と称される機関は本国である。

広い公式広場の国旗掲揚塔にソ連の国旗を四人の子供が運ぶ。旗の四隅を持って足をピンとのばして軍人そっくりの歩き方である。広場の周囲に各地区の旗が立つて広場をとりかこんでいる。旗はいづれも真紅にレーニンの顔が染めぬいてあるが、デザインがさまざま、横顔あり右向きあり、左向きあり上向きありであるが、トレードマークのあごひげはちゃんとついている。

所長のキチングスカヤ女史は顔立ちもきつく声も大きく張りがあって、男性的な感じの人である。所長が演壇の前に立つと、国旗がする／＼とあがり開会式がじまた。班班（一グループ）から一人づつ所長の前に出て挙手をしながら宣誓（？）をした。子供達は低学年も居る

と見受けられたが、皆キビ／＼と元気激らつである。日本の子供達は声をかけても満足な返事もなく、声を出しても低くてききとりにくい。はにかんでいるのか国際的な感覚に乏しく呑まれてしまったのだろう。しかし、今後はこんなしなびた感覚では世界はおろか国内社会でも負けてしまう。きびしい訓練で対外国への感覚を身につける必要があると痛感したのは私一人ではないと思う。

全道労協の代表が挨拶をする。サハリンと全道労協は友好関係にあり、今回はその友好と平和を意味する為に子供達と共に、平和のシンボルの鳩を持参したと言つて鳩のついた置時計を所長に渡した。その時計を所長は自分の頭の上に高々と差しあげた。広場をしばらくの間拍手が埋める。

国際親善を深める部屋で一休み、せまい部屋であつ



たが五・六人の対話なら丁度よいのだろう。手紙の交換などもこの部屋で行なつた。

キチンスカヤ所長は、日本の子供を招待したのはこちらの労働組合の評議会の力があつたと話した。この施設と子供達の事を両親に話してほしいと、偶然 (?) に来合せたと言う評議会の人が話していた。

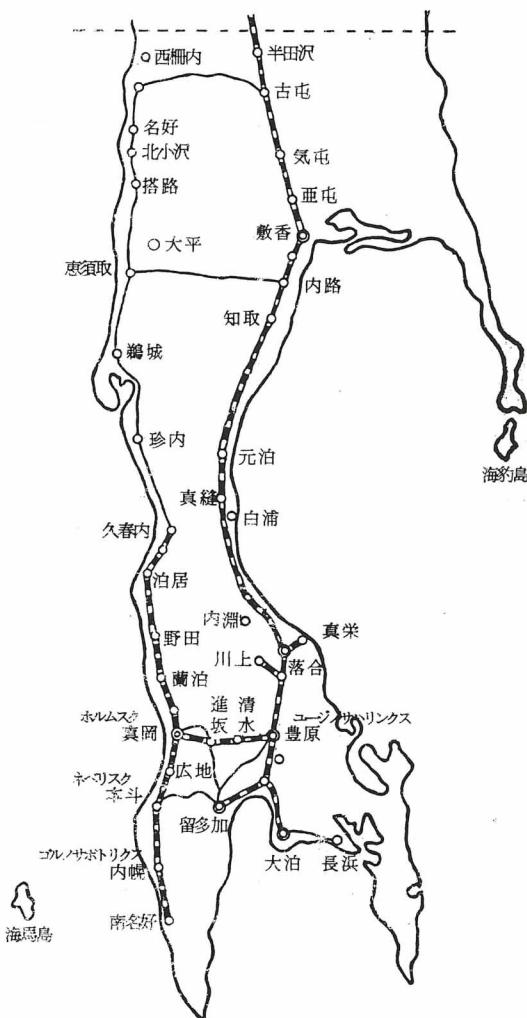
図書館

一九四七年、州執行委員会が旧豊原の図書館を増改築して、州一の大きなものとした。五〇〇〇平方メートル、ソ連邦としても大きい方である。

テレスコフが初代の館長で、一九四七年開設のとき五千冊の本を用意し、一年すぎて一万六千冊となつた。

テレスコフが初代の館長で、一九四七年開設のとき五千冊の本を用意し、一年すぎて一万六千冊となつた。レニン格ラード、モスクワの図書館が本を一部わけてくれた。ソ連で発刊される本は全部揃っている。図書館に来て読まれている本によって、どの方向に産業が進むかわかる。

現在は六十八万冊の本があり、本のほかに雑誌、新聞等もある。十五万冊の本は政治に関するものである。自然の本、文学の本、工業農業に関する本がある。こ



の図書館の宝は革命前のチエホフの本である。党の決定としてここへ本を読みに来る人に、このチエホフの本を宣伝し、皆に読ませるのが大きな目的の一つである。六十八万冊の本を読者に貸し出し（十日間）、この図書館にない本はソ連のあらゆる機関に注文して、読みたい人に読ませるよう努力している。年々読者が増えるのは共産党にとって大いなる意義であろう。

新聞、雑誌は三万冊ぐらゐある。中には革命以前に出版されたものもある。二万六千人の読者があり、中には学者や専門家も含まれる。情報センターとしても活用されている。

日本の事を書いた本が並んでいるところで興味を引いたのが歌舞伎の本である。特に役者の役柄によつて違う顔の隅取りを説明しているらしい。読めないが暫くか荒事の顔の隅取りを一つ一つ書いているところをみると、親切な解説書なのだろう。石川啄木の本が一番よく読まれていて本棚に納まっている闇がないと聞いたが、どんな階層の人達が読者かと質問することは差しひかえた。

働くけど働けどわがくらしらくにならざり

サナトリウム

日本時代の川上温泉の地に三年前に建築された心臓病を主目的とした立派な療養所である。

女医（所長かも知れない）の部屋で説明を聞く。明るい部屋で隅に真紅なグラジオラスの花が大きな壺にさしてあり、壁に大きなレーニンの額をかけてあった。この額の額の方が印象に残る。此處の心臓病の治療法は十四種類あり、身体に泥をぬる治療法もあるとの事で、各室を一つ一つ案内して説明をしてくれた。

プールもあり同行の男性で泳いだ人達がいる。私達女性三人はシャワー室に案内された。親切にタオルを貸してくれ、お湯を出していってくれた迄はよかつたがシャワーは固定されており、調節箇所が高いので私はやっと手の届く位置である。はじめはお湯だったがすぐ水になり、マゴ～～しているうちに頭から水をかぶってしまった。後仕末が大変だった。心臓の治療にお湯、水の交互治療もあるのかも知れない。風呂も治療の手段の一つであり數も沢山あって立派な設備

ちつと手を見る。

啄木は生活派の歌人だから、案外一番人気があるのかも知れない。読者の層を質問しなかつたが、底辺の人達が多く読んでいるのかも知れない。残留日本人が沢山いるサハリンだから。

この図書館の館長は東シベリヤの文化大学を終えて赴任し、二十年勤続していると話していた。

このあと建物につづいて油絵のコーナーを見学する。印象に残った作品があった。じゃがいも畠の獲り入れ作業の様子を画く、広い畠、沢山のいも袋、それにいもを詰める男女の働く姿、その背景と共に異い出となつた絵である。号数はわからないが横長で相当の大きさの絵であった。

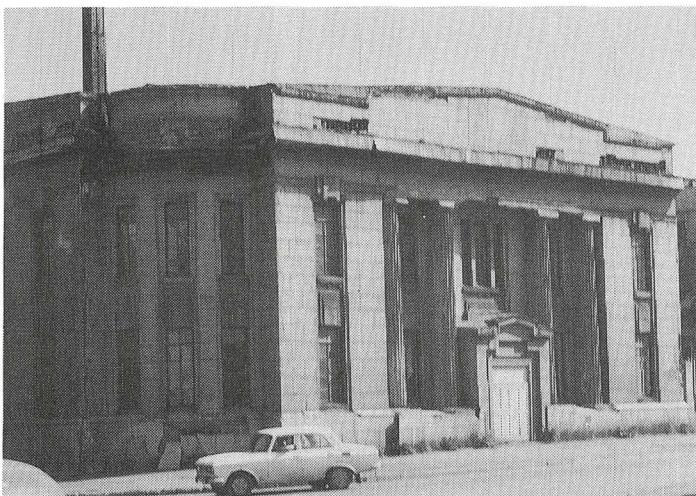
三百人収容の食堂、二五〇人収容の映画館、ステージのついたホール等の諸施設が完備して、費用は自費で、間で二〇〇ルーブル、その内三〇パーセントが自費で、あとは国費であれば本国からも治療に来るのは当然と感心した。夕張炭鉱の人達も治療に来た事があると話していたので、いづれも全道労協の関係者なのだろう。この飲料水は多少塩からいと言っていたので、飲んでみたら多少どころではなかった。いつまでも口が渋い。しかし、こんな立派なサナトリウムも、誰でも好きな時に入れると言うものではないのだろう。利用するには相当の制限があるのでないかと思う。

バスの窓から

ホテルで昼食をすませてサナトリウムに向う途中で結婚式を見た。式をあげたあと、これから式をあげるのかはわからないが、若い二人は黒の燕尾服と白いドレス、友人か家族かが十四・五人（友人ばかりではないかと思う、皆若く見えた）である。黒い自動車に乗るところだったが、黒い車のまわりに白とピンクの花を沢山かざり、花と花を白とピンクのリボンでつなぎ花の車である。通訳のトーリヤさんの話だとこの花をつけた車は一日中街の中を走り廻るとの事である。

帰り道で

途中石灰の山積みを見る。土地を酸性からアルカリに改良する為だと言う。広い草原はかつて日本人が灌木を切り開いて畠とし、隅々まで開墾した筈だが、現在はじやがいもの白い花がポツポツと見え、牧草と雑草が同居している。



(旧拓殖銀行、豊原市内)

う。

お別れ夕食会

墓参の日程は全部終り明日はハバロフスクへ向う予定である。

ユージノサハリンスク市長は日曜日の為シセボ・ハバロフ副市長が出席、それにずっと一緒に行動をしたインツーリスト支店長、リーチヤ、トーリヤ、鄭さん、こちらは全員出席で和気藹々であった。

道府の中西係長が、あちらの人はお花をつけてやると喜こぶからとわざわざ席を立って卓上のマーガレットを一輪副市長の胸ポケットに挿して握手をした。よく見るとソ連人には似ぬきつさがない顔である。芯は反対にきびしいのかも知れないが、磯部・木村両氏もつづく。

私は柳橋さんに催促されてしぶしぶ「八戸小唄」西さんが尺八をつけてくれたが、中西さんは本式、私は流の略式、時々中西さんが中休みの状態で一寸申しわけなかつたがこれより知らないのだから致し方ない。でもソ連側には調子はづれはわからぬだろうとかをくくつっていた。

十時に終了する。食堂を出る時ソ連側の手土産にチョコレートをもらう。一箱しか持つて来なかつたのを女性三人が代表でもらう。

明日は樺太とお別れ、ハバロフスク泊りである。日本が近くなつた。今田さん（参加者十五人の代表）が食堂を出る時、新潟へ行つたら生ずして乾盃だとつぶやいたが同感である。

部屋に入つて荷物の整理をはじめる。頂いたチョコレートの三分の一を隣の木村・磯部両氏の部屋に届ける。二人の部屋に来客があった。女性と顔を会わせてお互に「あら」と声を出す。先日部屋に来てもらつて靴下をあげた彼女である。御主人は福田氏（朝鮮人でないか？）彼女は福原きみ子さん。日本の言葉を話したくて来たのだそうだが、隅然に知人であったとの事である。木村さんと福田氏は小学校時代の同級性で家は近所であった由、福田氏の妹と磯部さんも同級性との事で話がはづんでいた。友人のことや昔の思い出それに日本へ引揚げた人達への言伝てなど時間を忘れ

て話していた。福田氏の話では残留した人達は裕福ではないが生活はまあ／＼らしい。退職してからの生活は花を作つて立っているようだ。松原さんはホテルの三階のお掃除を二十七年も勤続しているとの事、どうりで白衣を着ていると思った。部屋を出る時、わづかばかりの品だったのに香水とマスフレップの実のびん詰をもらう。自分で作つたものと言つていたが甘味が全々なくひどくすっぱい。帰国してから蜂みつにつけて置いた。

七月三十日 月曜日 晴

豊原出発は昼近くなので朝食後磯部さんと買物がてら街に出る。思い出にやつとスカーフを一枚見つける。店は日本と違い数がないし種類もなく、ケースに並べたものから出してよこす。選ぶことも比べることも出来ない。ボタンニケいくら、安全ピン三ヶいくらと実際に細かい。吾々ならボタンと言えば好きなものを選ぶに目移りがする位多いし、安全ピンなど十本一組である。人々の生活の貧しさを感じさせる。しかし女子の頭についているリボンがカラフルできれいだった。時間迄駅の方へプラ／＼歩き駅の見える木蔭のベンチで磯部さんの思い出話を聞く。

誰にとつても見納めである父祖の地樺太、近くで遠い故郷である。駅を見ながら指しながら話す磯部さんは最後なら聞く私も最後である。胸にあついものがみあげてくる。

現在の豊原は人口十六万人、昔の佛は全くと言つていい程ない。建物では博物館、市立病院（現在陸軍病院との事）が残っている位。使用されていないが拓銀豊原支店の建物は大部いたんではいたが、図書館の隣りに残っていた。三、四年前まで使用されていたとの事である。昔と違ひ道路も広くなつたし新しく道路を作り、市役所の前の広場にレーニンの像が建つ。これだけでも大きな変貌である。

サハリン州の平均収入は三八〇ループル（日本円にして十二万円位）、本国より多いのはモスクワより遠いから、その費用をみてるのだと事であった。

空港では一般客と隔離されて裏階段からそのまま、空港賓室に入る。飛行機は一時間おくれ、ツーリスト支店長が水を出すやら椅子を持つてくるやら世話をやいている。

鄭さんが女性だけと女医さんの居る休養室に案内してくれる。紅茶はどうかと言われたが機中でのトイレを考え遠慮する。又一時間おくれと鄭さんが知らせに来る。ウトウトとしていたら女医さんがソ連全土の絵葉書とアエロフォートのパンフレットを持参、絵葉書で一枚づつ地名を教えてくれた。が、発音が聞きとれず違つて書いたかも知れない。

（以下次号）

（昭和六十年版）

電気設備工事共通仕様書・標準図説明会今年七月盛大に開催される

去る三月二十日午前十時よりホテルアカシヤに於いて標記の説明会が開催された。

過去には五十六年と五十七年の二回、独自に当組合と函館電設業会との共催で開催したが、今まで札幌市で北海道電業協会が、共通仕様書の改訂毎に説明会を開催した他は道内で函館を除いて開催されていない経緯もあって、本年は北海道開発局営繕部の指導のもと全道五ヶ所で開催されることになった。

受講料も全道統一とし仕様書、標準図、説明資料等の関係もあり、組合員以外にも函館市はじめ渡島・檜山管内の地方自治体にも案内を出し、予め受講申込を受けたせいもあって受講者も一三八名の多さに達した。

前年二度も講師を頼った事のある北海道開発局営繕部設備課長補佐、小室堅三氏が先づあいさつと改訂要旨の説明に入り順次左記の項目で進められた。

◎十時三十分～十二時

一般共通事項 北海道開発局営繕部設備課

電力設備及び標準図 課長補佐 小室堅三氏

◎十三時～十四時四十分

受電設備 自家発電設備 北海道開発局営繕部設備課

中央監視制御設備 営繕監督官 久保了護氏 及び標準図

◎十四時五十分～十六時四十分

構内交換設備 及び標準図 北海道開発局営繕部設備課

電気第一係長 田口幸則氏

尚受講者一三八人のうち函館開発建設部より五人、函館市役所関係では都市建設部工営課より柳館設備係長を始めとする計五人の担当者、下水道部より四人、市立函館病院一人のほか、上磯町役場一人、北檜山町役場一人、更に市内各電気設備設計事務所計四人、電材問屋より担当者四人と多彩な顔振れで予定時刻一杯熱心に聴講し盛会裡に閉会した。

主催 社團法人営繕協会 後援 北海道開発局・札幌市
協賛 北海道電気工事業協同組合
社団法人北海道電業協会
社団法人日本電設工業協会
日本設備設計家協会北海道支部
北海道設備設計協会

（三月十一日の札幌を皮切りに十三日帯広、十五日旭川、十九日釧路、最終二十日は函館となつた。）

電気工事業法に基く 立入検査の

三月一日から三月五日の間に、延べ六日間四〇事業者（組合員三四、非組合員六）に対して実施されました。

検査の結果指摘された主な事項は別表のとおりですが、九〇項目の多くを数えて居ります。

に今回は昭和五九年四月一日以降「みなし電気工事業者」の届出事項の事務処理が変更になり、建設業許可を更新した際に電気工事業者届出番号および届出年月日が新しく変ったのに訂正せず、旧いまゝ掲示しているものが多く目立つて居ります。

これについてはそれぞれ整備のうえ支庁の確認を受け
るよう指示されて居ります。

又、今回は「工事士免状のない者に作業をさせた」「登録のない業者に下請をさせた」が各一件づつ指摘されて居りますが、度易支店では「電気工事業の業務

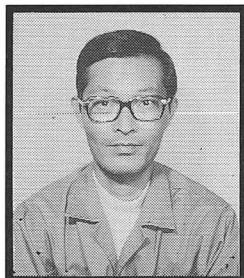
の適正化に関する法律」が昭和四五年五月二三日公布されてすでに一五年を経過した現在において、このよ

うな重大違反があるのは誠に遺憾で、今後このようないくつかの規則を設けることを要望する。

いづれにしても更めて関係法令を読み返えし、間違つても登録・届出を抹消処分されることのないよう充分注意をして、工事の施工・管理をされるようお願いします。

| (4) | (3) | (2) | (1) | 4 | (2) | (1) | 3 | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) | 2 | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) | 1 | 標識 | 指摘事項 |
|------------------|----------------------|-----|----------------|-----|---------|----------|----------|------------|---------------|------------------|---------|---------|-------|------------------|--------------|------------------|---------------|-------------|-------------|-------------------|---------------|------|
| 登録のない業者に下請をさせている | 工事士免状のない者に作業をさせていている | 不在 | 変更事項の届出がされていない | その他 | 保存していない | 保存が不備である | 配線図等関係書類 | 作業者名の記載がない | 着手、竣工月日の記載がない | 注文者、施工者の記載が誤っている | 備え付けがない | 備え付けがない | 工事整理簿 | 現場用標識はあるが掲示していない | 現場用標識の備付けがない | 店頭用標識の記載事項が誤っている | 店頭用標識を掲示していない | 店頭用標識が誤っている | 店頭用標識が誤っている | 店頭用標識を掲示場所が不適当である | 店頭用標識を掲示していない | 指摘事項 |
| 83 | 1 | 1 | 1 | 4 | 4 | 7 | | 12 | 7 | 13 | 10 | 1 | | 1 | 6 | 10 | 1 | 1 | 3 | | 組合員 | |
| 15 | | | 1 | 1 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 2 | 2 | 1 | | 1 | | | 員外者 | |
| 98 | 1 | 1 | 2 | 5 | 6 | 7 | | 13 | 8 | 14 | 11 | 2 | | 3 | 8 | 11 | 1 | 2 | 3 | | 計 | |

立入検査指摘調 調査件数40件



★追悼記

岩本電気(株) 岩本明博

氏は去る二月七日心不全で急逝せりま。

急遽されまし
た

つ追悼の記を綴ります

月十六日、東京都で生まれました

卷之二

昭和三十六年二月、道立函館西高等学校を卒業し、家業の岩手本電気商会で家電商品の販売に従事したのですが、若い青年の志は技術者への道も目指し、当時店の近くにあった日本電機保全㈱の指導を受けながら独学を重ね、短期間の間にテレビジョン・受信機修理技術電気工事士資格・消防設備士資格・高圧電気工事技術者の資格を取得して、昭和四十三年十一月に当組合に加入されました。

昭和四十六年からは岩館電気高等職業訓練校の指導員として後輩の指導育成にも尽力され、四十七年二月に当時組合事務局に勤めて居りました奥様のとも子さとんと結婚されてからは一人のご子息に恵まれ、円満な家庭を築くとともに社員の教育にも充分配慮し、昭和五十二年六月には頼りとする父上を亡くされましたが母上と奥様共々力を併せて社業を伸ばして、昭和五十七年四月に岩本電気㈱へと発展させたのです。

苦節を乗り越え、花開き、まさに実を結ばんとする四十二才の若い桜を散らせた無情な報せに、日々驚きと悲しみに堪えないばかりで、ご遺族のご心情もさぞかし残念とお察しするばかりであります。

貴方が残した努力と多くの業績は不滅の道となるべく、
共を激励し、業界の一層の発展とたまることを信じてやみません
こへに生前を偲び、謹んで故人のご冥福をお祈り
しつつ追悼の記といたします。

あかるい明日を技術でひらく



三菱電材特約店
あらゆる電設資材卸

東芝電材株式会社

函館営業所

040 函館市大繩町二十二番十四号
電話 函館四一一二三四一

吟味する

松下電工株式会社

函館出張所

函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話 函館四九一一五二五五七

電設資材・機電綜合卸

進和電機株式会社

040 函館市松川町三四一一三
電話 四二一六二二二六

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九
電話 四九一一三一三九

明日をひらく電設資材の総合卸商社

株式会社

工三ヤ商會

函館営業所
本社 札幌・當業所
電話 四三一二三〇一(代表)
鉄路、苫小牧

電気工事材料
音響通信機器

総合商社

大興電機株式会社

電気設備機器資材の総合卸商社

本社 函館市西桔梗町五八九一〇七
電話 四九一一三一三六九
山越郡八雲町内浦町一〇七番七

支店

函館営業所
040 063 060

函館市西桔梗町五八九一〇八
○館○牧○小○中央区北六
○市一中四新中野町二二二二
一三八○島五町二二二二西
五五四一丁一
四四四四自九三丁
二二一三番二二
一五七二二番番
代号代号代地

石垣電材株式会社

函館営業所

本社
040 063 060

支店